

目標設定シート（達成度確認）

施設名	三田市総合文化センター	年度取組目標			進捗度	達成度
設置目的	市民の芸術文化活動の振興及び市民相互の交流を図るとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供し、もって市民だれもが文化に親しみ、魅力ある三田の文化を創造する	①	三田らしい公演のための三田市ゆかりのアーティストの活用と発掘	5	10割以上	目標を超えた顕著な実績があった
基本理念	市民だれもが文化に親しみ、魅力ある三田の市民文化を創造するための拠点施設として、特色ある地域文化を創造する。また、市民の多彩な文化・学習活動や芸術鑑賞に加え、発表の機会の提供を進めるとともに、文化団体の育成指導と文化情報の提供に努める。	②	文化芸術次世代人材の育成(将来の三田市の鑑賞者と表現者の育成)	4	8割-10割	目標を達成した
		③	すべての人にやさしく、誰もが参加できる事業運営と施設サービスの提供およびエリアマネジメントの視点に立った持続可能な運営と地域活性化への貢献	3	6割-8割	もう少しで目標達成できる(8割以上達成)
評価指標	施設の興行的稼働率	④	大・小ホール、リハーサル室の年間稼働率(%)	2	4割-6割	目標を達成できなかった
	文化事業についての満足度	⑤	利用者アンケート結果(%)	1	4割未満	目標達成に向けた取り組みがほとんどできなかった

中間評価時点

	進捗状況	達成に向けた課題	進捗度
①	・シティフレッシュコンサート、音楽でおでかけミュージアム、さとのね寄席で地元アーティストに活躍いただけた。 ・新たにレジデンシャルアーティスト3組を採用することができ、お披露目コンサートも開催できた。	・レジデンシャルアーティストのような、新たな地元の才能を発掘し、公演やワークショップで光を当てていく。 ・助成金活用による、質の高い文化芸術の提供価値を上げる取り組みを実行する。	4
②	・スクールシートを1公演で設定し7名が参加した。 ・発達がゆっぴりなお子様も参加できる「アートワークショップ」「音楽ワークショップ」も実施した。 ・三田国際ジュニア合唱祭支援を行った。	・下期に実施するアウトリーチやフルートWSなどは、アーティストとの連携をしっかりと取って進めていく。	3
③	・さんだまち博へ参画し36名が参加した。 ・ラウンドテーブルを実施。 ・三田市内6校の高校生探究活動との連動による、探究発表会実施に向けたミーティングを実施(隔月で1回)	・経済的な問題や家庭環境の影響で文化芸術に触れる機会が不足している子どもたちと家庭を対象に無料招待する「こころ羽プロジェクト」を実施する。 ・市指定の事業以外では、さんだまつり、農業まつり、さんだ秋の観光と味覚まつり、白洲次郎関連など市および観光協会との連携強化。 ・探求発表会は1月25日(日)に実施予定。	4
④	令和7年度上期(4-9月)結果 68.3%(大ホール:39.2%,小ホール:68.9%,リハーサル室:96.8%)	令和7年度年間目標稼働率:74.0% 大ホール、小ホールでの公演当日以外の利用を促す(舞台利用のみも含めたリハーサル、音だし、録音など)	3
⑤	令和7年度上期(4-9月)結果 1, 満足度(公演):91.5%:779件 内訳 大変満足:69.9%、満足:21.5% *無回答257件除く 2, 満足度(講座):95.8%:46件 内訳 大変満足:91.6%、満足:4.1% *無回答8件除く	公演・講座の満足度をよりUPすると同時にスタッフ対応の満足度をUPするために接遇研修に参加する。また、月1回の定例ミーティングで共有する。	4

年間評価時点

※連動評価項目：目標達成で得られた成果により加算対象となる評価項目

	達成内容（可能な限り数値等を用いて記入）	成果／課題と考えられること	連動評価項目※	達成度
①	公演やアウトリーチ活動を通して地域の才能に対する認知度を高めることができた。また、彼らを含め、三田市ゆかりのアーティストが活躍する公演を計画通り開催し、芸術文化を市民に提供できた。	レジデンシャルアーティストのような、新たな地元の才能を発掘し、公演やワークショップで光を当てていく。今後の課題としてはシティフレッシュの応募が減少しているので募集条件、告知方の検討が必要。		4
②	・スクールシート:2公演で設定し47名参加 ・アウトリーチ:小学校20校+福祉施設1箇所の計21箇所を実施 ・フルートWS:57名	アウトリーチ活動では、急な学級閉鎖にも臨機応変に対応し市内全校で実施できた。また、フルートWSでは毎年売り切れとなり、特に低学年の参加が多く見受けられた。なお、スクールシートは助成金獲得を対象公演の拡大を図る必要がある。		4
③	・こころ羽プロジェクト:1公演で設定し30名参加 ・探究発表会:事前に6回のミーティングをし第2回も開催できた。	こころ羽プロジェクトについては2公演設定したが、一般チケット完売のため1公演となった。探究発表会では、探究発表以外にワークショップ、ポスターセッションへの参加校が増え集客拡大に貢献できた。一方、大ホールでの発表会への集客に課題が残る結果となった。		3
④	令和7年度(4-2月)結果 70.0%*3月は除く (大ホール:43.9%,小ホール:69.7%,リハーサル室:96.4%)	目標稼働率である74.0%には達成できなかった。小ホールは69.7%(約70%)となったが、大ホールの目標である50%には到達しなかった。引き続き舞台利用の促進を図る。		3
⑤	令和7年度(4-2月)結果 *3月は除く 1, 満足度(公演):93.1%:1,350件 内訳 大変満足:73.2%、満足:19.9% 2, 満足度(講座):88.5%:131件 内訳 大変満足:72.3%、満足:16.2%	利用者アンケートの回収率は公演33.8%、講座23.0%と低調であったが、おおむね満足度UPとなった。		4

【評価への反映について】 目標の達成状況に応じて「I(6)目標の達成度」を評価するとともに、目標達成で得られた成果により他の評価項目（サービス効果）においても波及効果がある場合は、加算評価する。

総評（年度を通じての成果、課題、今後の方向性）
三田らしい公演やワークショップの開催を心がけ、地域の文化芸術の発信と受容の場としての役割を果たすことができた。また、音楽ワークショップや探究発表会など持続可能な施設を目指すべく、ホールの賑わいや活性化も意識した取り組みもできた。